

宮崎県美郷町(株式会社 南郷温泉) 第三セクター等経営健全化方針

この方針は、相当程度の財政的なリスクが存在する第三セクター等と関係を有する地方公共団体が、当該第三セクター等の抜本的改革を含む経営健全化のための方針を定めるものである。

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 平成31年3月7日
作成担当部署 美郷町役場企画情報課

2 第三セクター等の概要

法人名 株式会社 南郷温泉
代表取締役 田中秀俊(美郷町長)
所在地 宮崎県東臼杵郡美郷町南郷神門151-1
設立年月日 平成10年6月1日
資本金 60,000千円【当該地方公共団体の出資額(出資割合) 60,000千円(100%)】
業務内容
・温泉施設管理運営業務(温泉、レストラン、売店)
・コテージ運営業務
・販売業務(化粧品委託販売、こんにやく製造販売、酢みそ製造販売、キムチ製造販売)

3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

当法人は町(旧南郷村)が100%出資により平成10年6月に南郷温泉山霧を運営する第三セクターとして設立された。当時の温泉ブームや良質な泉質が評判を呼び、1期、2期では経常利益を計上するに至ったが、別会社で観光施設の管理運営をする第三セクター(株)南郷クリエイション(平成7年12月設立)の経営悪化に伴い、平成13年3月に同社を統合し多額の負債を継承することとなった。引き継いだ債務を抱えたまま、その解消に向けて経営努力を重ねる運営を行ってきたが、近隣施設で発生したレジオネラ菌問題による外的要因や台風被害による幹線である国道の決壊、設備の突発事故が重なり経営を大きく左右されてきた経緯もある。
なお、町は抜本的見直しとして財政支援(支援補助金)の投入や施設の一部直営化によるスリム化により対策を行った。また町からの貸付金である振興資金については条例に基づき一部支払猶予を適用している。

4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

直近3か年の経営状況でみると、入湯客は57,000人から55,000人で推移。経常収益は1億円程度を維持し、微弱ながらもいずれの年度も経常利益を計上するに至る。経営面においては、自社商品である「どんたく」ブランドを中心とする「美の3か条」を経営理念に掲げ、源泉掛け流し温泉として他社との差別化を図りながら運営している。また、平成28年2月より稼働が開始した太陽光発電設備により、光熱費において約10%程度の削減が実現している。その他、町イベントとの連携や、合宿誘致などにも積極的に取り組みながら集客に努めている。
今後も、各部門ごとの経費の見直しを更に進めた上で、引き続き積極的な経営改革を行いながら経営の改善を図っていく。

5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

町内に2つ存在する法人化された温泉施設(株)南郷温泉、(株)レイクランド西郷)の合併統合に向けた取り組みを行う。

「第1ステップ」総務部門の統合

両セクターの総務部門(給与形態、就業規則、経理部門)について労務管理や会計事務所等を一本化して統合作業の実施。

「第2ステップ」経営部門の統合

総務部門の統合を踏まえて、経営母体を一本化する。(それぞれの部門の人事管理、給与管理、労務管理及び会計管理を一本化して行うことで効率的な運営に資する。また、管理母体を一本化することで管理経費の節減が図られる他、広告宣伝・販売促進費等の集約や、仕入れ等の一括管理などにより経費節減が見込まれる)

「第3ステップ」委託料等の見直し

第1、第2ステップの確実な実行を行ったうえで管理経費の節減が達成することが重要となる。また、合併統合によってもたらされる各経費の節減効果に加えて、経営内容の抜本的見直し(営業時間の縮小や一部施設の民営化等)を断行し、適正な人員配置や適正な施設の規模を再度見直し、将来的に持続可能なものとなるよう努める。

(参考)

6 法人の財務状況

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
	資産総額	38,538	35,919	33,406
	負債総額	92,243	88,031	85,051
	(うち当該地方公共団体からの借入金)	(80,376)	(76,670)	(73,670)
	純資産額	△53,705	△52,112	△51,645
	累積欠損額	113,705	112,112	111,645

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
	総収入 ※	105,257	102,370	104,386
	経常利益	360	1,801	676
	当期純利益	151	1,593	467

※総収入＝売上高＋営業外収益＋特別利益